



「カケハシ・プロジェクト」に高校生が国際交流派遣 高大連携で留学生と実戦形式の事前学習を実施

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、併設校である追手門学院高等学校(大阪府茨木市、校長：木内淳詞)と追手門学院大手前高等学校(大阪府大阪市中央区、校長：原田哲次)が一般財団法人 日本国際協力センターが実施する対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト (KAKEHASHI Project)」の参加校に選ばれたことを受け、派遣前の事前学習を大学の英語自律学習施設 E-C0 (English Café at Otemon) を活用して実施します。

カケハシ・プロジェクトでは2019年1月23日～30日にかけてアメリカのテキサス州に派遣され、現地では「日本の外交姿勢や歴史、文化、政治、経済、社会、先端技術、在住地域の魅力等」をテーマにプレゼンテーションを行います。こうした国際交流には事前学習が欠かせないことから、大学のあるメリットを生かし、アメリカ人留学生5名と英語学習施設を活用し、実戦形式の事前学習を行ないます。

▼事前研修の概要

日時：10月31日(水) 16:40～18:00

11月21日(水) 16:40～18:00

12月12日(水) 16:40～18:00

場所：追手門学院大学 中央棟2階 E-C0 (English Café at Otemon)

参加者：アメリカ人留学生(大学生)5名

追手門学院高等学校生5名、追手門学院大手前高等学校生5名

◆10月31日(水) プログラム

内容：テーマ①に沿ったミニプレゼンテーション

テーマ①に沿ったディスカッション(高校生、留学生混在の複数グループで実施)

テーマ②に沿ったミニプレゼンテーション

テーマ②に沿ったディスカッション(高校生、留学生混在の複数グループで実施)

テーマ：①日本は外国人にとって親しみやすい国か

②日本文化のいいところ、改善したいところ

【ポイント】

○日本人高校生がアメリカ人留学生(大学生)と英語でのディスカッションを実施。

○高大連携で取り組むことにより、充実した事前学習を実現。

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」とは

対日理解促進交流プログラムは、日本政府(外務省)が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。その中で「カケハシ・プロジェクト」は北米地域を対象にした交流事業で、米国派遣事業では1年間でおおよそ350人規模の将来を担う人材(高校生・大学生・大学院生等)を原則として8日間程度派遣します。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 足立・谷ノ内